

## 『涉外関係綴(竹島関係綴)』(S28)

件番号	枝番号	文書番号	件名	作成・発信者肩書	作成・発信者名	宛名・受信者肩書	宛名・受信者名	西暦	和暦	月	日	備考	丁数
001	00		『竹島漁業の変遷』		アジア局第二課			1953	昭和28	08		表紙にマル秘の印、目次あり	051
001	01		序	アジア局第二課長								島根県東京事務所速水保孝氏がまとめた	(1)
001	02		目次 一、竹島漁業の変遷 二、参考資料 (イ)国税外諸収入徴収元帳 (ロ)竹島の島名についての補足 (ハ)浜田正太郎口述書 (ニ)奥村亮口述書 (ホ)橋岡忠重口述書 (ヘ)中渡瀬仁助口述書 (ト)中井養一口述書										(001)
001	03		竹島漁業の変遷(明暦2年(1656)頃から年代を追って、各資料からの抜き書き)					1656～	明暦2～				(025)
001	04-01		参考資料 (イ)国税外諸収入徴収元帳(「隠岐国周吉・穂地・海士・知夫郡官有地台帳」一竹島の記述、「大蔵省地方財政部松江出張所土地台帳写」含む)					1925～	大正14～			【新研究P56、66】	(003)
001	04-02		(ロ)竹島の島名についての補足									「竹島」(古文書簿冊780)「竹島及び鬱陵島」、奥村亮口述書から引用	(003)
001	04-03		(ハ)浜田正太郎(42)口述書 昭和28年7月9日					1953	昭和28	07	09		(002)
001	04-04		(ニ)奥村亮(43)(平太郎の長男) 昭和28年7月11日					1953	昭和28	07	11	【新研究P104】	(004)
001	04-05		(ホ)橋岡忠重(53)口述書 昭和28年7月9日					1953	昭和28	07	09	【新研究P104, 105】	(003)

## 『涉外関係綴(竹島関係綴)』(S28)

001	04-06	(へ)中渡瀬仁助(73)口述書 昭和28年7月10日					1953	昭和28	07	10		(002)
001	04-07	(ト)中井養一(55)(中井養三郎長男)口述書 昭和28年7月6日 (「履歴書抜中井養三郎」含む)					1953	昭和28	07	06	【新研究P102】	(005)
002	00	日韓漁業交渉資料三 日本海の竹島について	外務省				1952	昭和27	02	02	1概説 2領有の経緯 3島名の変更 4経営 5韓国の竹島に対する主張	009
003	00	竹島及鬱陵島	島根県広報文書課				1953	昭和28	07	07	本冊子は、県立松江図書館所蔵、奥原碧雲著「竹島及鬱陵島」の複製である。但し、原本の一部を省略した。	039
003	01	[序文]	島根県事務官	神西由太郎			1906	明治39	07			(001)
003	02	凡例		奥原碧雲			1906	明治39	05	28		
003	03	目次(鬱陵島の第八以降が書かれていない)										(001)
003	04	竹島(第一～第六)		奥原碧雲							第二号図面:竹島实地踏査地質図、第三号図面:海驢生殖地及上陸地、海図 [原本にある第一号図面:竹島見取平面図なし]	(016)
003	05	鬱陵島(第一～第十二)									鬱陵島見取図含む	(013)
003	06	附録 竹島渡航日誌		碧雲								(006)
003	07	本書出版につきて、奥付									明治40年5月発行	(001)
004	00	自明治三十八年 願書併指令 竹島漁獵合資会社										014

『渉外関係綴(竹島関係綴)』(S28)

004	01		海驢漁業許可願 38.5.20 省略 海驢漁業許可願ニ付 上申書 38.5.20 省略 代 表者届 38.6.12 省略 農第 1926号指令 38.6.5										
004	02		官有地借用願	借用主 竹島漁獵合資会社	代表社員中井養三郎・保証人加藤重蔵	島根県知事	松永武吉	1906	明治39	04	30	図面省略と書いてある。 【新研究P53】	
004	03		専用漁業免許願	竹島漁獵合資会社代表社員	中井養三郎	農商務大臣	松岡康毅	1906	明治39	04	30		
004	04		漁場図(図略ス)										
004	05		竹島借用願ノ件ニ付 其筋ヨリ照会ノ次第 モ有之付面談ヲ要ス ルニ付当係迄御出 頭被下度此段申進	島庁土木係	竹中		中井養三郎	1906	明治39	06	04		
004	06	土第25号	官有地借用許可書 受書提出有之度申	隠岐島庁土木係		竹島漁獵合資会社代表社員	中井養三郎	1906	明治39	07	12		
004	07	島根県地第2034号	官有地借用許可候 条受書差出スヘシ	島根県知事	松永武吉	竹島漁獵合資会社代表社員	中井養三郎	1906	明治39	07	02	【新研究P54】	
004	08	島根県水第3046号	明治40年6月28日付 願海驢漁業ノ件許可 シ鑑札一枚下付ス	島根県知事	松永武吉		中井養三郎外二名	1907	明治40	09	10		
004	09		証明願 40年9月17 日 省略 外国旅券下付願 40年9月17日 省略 履歴書 省略 外国旅券領収書 40 年9月22日 省略									ウラジオストック視察関係	
004	10		潜水器鮑漁業許可 別申	竹島漁獵合資会社代表社員	中井養三郎	島根県知事	松永武吉	1907	明治40	03	20?		
004	11			竹島漁獵合資会社代表社員	中井養三郎	島根県知事	松永武吉	1907	明治40	03	27	潜水器鮑漁業許可願の 別申	
004	12		船鑑札下付申請			島司		1907?	明治40?	03	26	船名 竹島丸、所有者氏 名 竹島漁獵合資会社	
004	13		膾葜獸獵免許願									日付、宛先等なし	
004	14		海驢漁業漁具増加 願(明治38年5月20 日付出願許可証中、 漁具に銃器の使用 致したく願う)	竹島漁獵合資会社代表社員	中井養三郎	島根県知事	松永武吉	1907	明治40	04	29	欄外朱書 三十日取下グ とあり 【新研究P101】	

『渉外関係綴(竹島関係綴)』(S28)

004	15		海驢漁業許可取消		中井養三郎・橋岡友次郎・加藤重蔵・井口龍太			1907	明治40	06	27	【新研究P95】
004	16		廃業届		井口龍太	島根県知事	松永武吉	1907	明治40	06	27	
004	17		海驢漁業許可願		中井養三郎・橋岡友次郎・加藤重蔵	島根県知事	松永武吉	1907	明治40	6	28	理由書含む 【新研究P73】
004	18		海驢漁業許可願		中井養三郎・橋岡友次郎・加藤重蔵	島根県知事	丸山重俊	1910	明治43	06	25	出願者三名のあとに、右代表者中井養三郎(43年6月29日島庁第一課ノ付箋ニヨリ訂正記入) 【新研究P73】
004	19		官有地借用願(隠岐島司所管竹島 反別23町3反3畝歩)	竹島漁獵合資会社代表社員	中井養三郎・保証人加藤重蔵	島根県知事	丸山重俊	1910	明治43	06	25	
004	20		右に対する付箋(土地使用スルニ付テノ方法書相添ヘ樹木成長ノモハ官有ニ納付スルノ条件ヲ付シ出願相成度候)	隠岐島庁第一課			中井養三郎	1910	明治43	06	29	
004	21		(海驢漁業許可願添付)陳情書		中井養三郎・橋岡友次郎・加藤重造	島根県知事	丸山重俊	1910	明治43	06	25	
004	22		官有地借用願 自明治四十四年七月至明治四十九年六月 五箇年期	竹島漁獵合資会社代表社員	中井養三郎・保証人加藤重造	島根県知事	丸山重俊	1910	明治43	06	25	【新研究P55】
004	23		竹島土地使用方法書(上記借用願の別上伸書)					1910	明治43	06	25	
004	24		上伸書(養三郎は農商務省水産局の計画に属する千島列島の経営に従事するため、竹島の漁業許可を長男養一に継承し従事させたい)		中井養三郎	島根県知事	折原已一郎	1915	大正4	04	30	【新研究P100】
004	25		海驢漁業許可願			島根県知事	折原已一郎	1915	大正4	04	30	許可期間: 自大正5年6月・至大正10年5月 5箇年間 【新研究P100】【新研究
004	26		陳情書			知事		1915	大正4	04	30	

『涉外関係綴(竹島関係綴)』(S28)

004	27		官有地借用願(前回と同文につき省略) 自大正五年七月 至大正十年六月 五箇年期		中井養三郎 保証人加藤重造	知事	折原已一郎	1915	大正4	04	30	【新研究P55、102】
004	28		竹島土地使用方法					1915	大正4	04	30	
004	29		別紙官有地繼續借用件認可書其ノ筋ヲ送付越候条及送付		西郷町役場	竹島漁獵合資会社代表社員	中井養三郎	1911	明治44	07	05	
004	30	受土第1834号	明治四十四年六月二十五日願官有地繼續借用ノ件許可候条左項相心得受書差出スヘシ	島根県知事	高岡直吉	竹島漁獵合資会社代表社員	中井養三郎	1911	明治44	06	28	
004	31		御請書(受土第1834号に対する)	竹島漁獵合資会社代表社員	中井養三郎	島根県知事	高岡直吉	1911	明治44	07	29	
004	32	土第794号	[官有地借用ノ件聞届]	島根県知事	折原已一郎	竹島漁獵合資会社代表社員	中井養三郎	1915	大正4	04	30	
004	33		海驢漁業許可願		島根県知事	島根県知事	財部実秀	1920	大正9	04		【新研究P73、102】
004	34		陳情書(省略)					1920	大正9	04		
004	35		官有地借用願(省略)	竹島漁獵会社	中井養三郎			1921	大正10	04	02	【新研究P55】
004	36		竹島土地使用方法書(省略)					1921	大正10	04	02	
004	37		官有地借用願(省略) 大正十年七月一 大正十五年六月	竹島漁獵合資会社	中井養三郎			1920	大正9	04	29	
004	38		竹島土地使用方法書(省略)					1920	大正9	04	29	
004	39		海驢漁業許可願(省略)		中井養一・橋岡忠重	知事	別府総太郎	1925	大正14	08		【新研究P73、102】
004	40		陳情書(省略)		中井養一・橋岡忠重			1925	大正14	08		加藤重造死亡
004	41	受第13号	国有地使用期限満了手續ノ件(期間満了前に行う手続き不履行)	隠岐島庁内島根県土木技手	万田治吉	竹島漁獵合資会社代表社員	中井養三郎	1926	大正15	03	16	
004	42		[受第13号を受けて国有地使用ノ件 繼續借用出願]	竹島漁獵合資会社	中井養三郎	隠岐島庁内島根県土木技手	万田治吉	1926	大正15	03	17	出願手續遷延の理由
004	43		官有地借用願(省略) 自大正十五年三月 至大正二十年					1926	大正15	03	17	【新研究P55、102】

## 『渉外関係綴(竹島関係綴)』(S28)

004	44		竹島土地使用方法書(省略)					1926	大正15	03	17		
004	45		国有地継続使用願	竹島漁獵合資会社	代表社員中井養三郎・保証人中井養一	島根県知事	別府総太郎	1926	大正15	03	19		
004	46		[国有地使用ノ件照会に対する回答]		島庁土木課		中井養三郎	1926	大正15	03			
004	47		国有地使用ノ件	隠岐島庁内島根県土木技手	万田治吉	竹島漁獵合資会社代表者	中井養三郎	1926	大正15	03	17		
004	48	受第48号	決算書提出ノ件	隠岐島庁内島根県土木技手	小川重吉	竹島漁獵合資会社		1926	大正15	05	01		
004	49		[受第48号をうけて決算書提出、別紙陳情書添付]	竹島漁獵合資会社		隠岐島庁内島根県土木技手	小川重吉	1926	大正15	05	29		
004	50		大正十四年度決算書 欠										
004	51		陳情書										
004	52	土第807号	[国有地継続使用の件許可]	島根県知事	別府総太郎	竹島漁獵合資会社代表社員		1926	大正15	06	23		
004	53		命令書(土第807号の別紙)										第1条から第5条以下省略
004	54		御受書(土第807号に対する)	竹島漁獵合資会社		島根県知事	別府総太郎	1926	大正15	07	11		
005	00		従明治三十八年行政諸官庁往復雑書類 竹島漁獵合資会社										023
005	01		御届(竹島海驢漁業合同営業致候、就テハ別紙ノ通り申合規約ヲ設定候条御届)		(中井・橋岡・井口・加藤連署)	隠岐島司	東文輔	1905	明治38	05	20		別紙は、なし。
005	02	農第439号	[竹島海驢漁業許可電達通知]	隠岐島庁農商係			中井養三郎外3名	1905	明治38	06	03		
005	03		竹島漁獵合資会社設立御届(省略)					1905	明治38	06	13		【新研究P86】
005	04	庶第357号	(省略)					1905	明治38	08	09		
005	05		竹島経営ニ関スル陳情書「竹島」にあり(省略)					1906	明治39	04	30		
005	06		竹島経営上必要ノ計画「竹島」にあり(省略)					1906	明治39	04	30		
005	07		東島司執事侍史		中井養三郎		東島司執事	1906	明治39	04	02		竹島における潜水器漁業等の企業に就いての利

『渉外関係綴(竹島関係綴)』(S28)

005	08	号外	[御調上左記事項承 知致度…… 回 答を求める](記略 す)	西郷町役場		竹島漁業会社		1907	明治40	01	08	
005	09		本日号外ヲ以テ御照 会ノ件左記ニ候条及 回答候也	竹島漁獵合資会社		西郷町役場		1907	明治40	01	08	資金総額・払込済額、営 業目的・設立年月日・会 社ノ名称種類等 宛名は各通
005	10		竹島海面専用ノ義ニ 付申請書	竹島漁獵合資会社	中井養三郎	島根県知事・隠岐島司	松永武吉・東文輔	1907	明治40	04	17	
005	11		竹島経営権独占ノ必 要ナル事情									省略部分あり
005	12		海馬漁業上必要ノ注 意斟酌(各項の説明 は省略)									
005	13		他ノ漁業上必要ノ注 意斟酌(三項目省 略)									
005	14		他ノ漁業ノ害(六項 目省略)									
005	15		上申書(井口竜太漁 業権抛棄の上竹島 漁獵合資会社を退 社)	竹島漁獵合資会社代表社員	中井養三郎	島根県知事	松永武吉	1907	明治40	06	27	
005	16		上申書		中井養三郎	島根県知事	松永武吉	1907	明治40	05	22	【新研究P62】
005	17		井口龍太竹島海驢 漁業許可御取消申 請書(不提出と朱書)		中井・橋岡・加藤	島根県知事	松永武吉	1907	明治40	06	22	
005	18		陳情書(不提出と朱 書)		中井・橋岡・加藤			1907	明治40	06	22	
005	19		会社営業報告(三十 八年度分) 省略					1907	明治40	07	11	
005	20		海驢毛鞣価格答申	竹島漁獵合資会社代表社員	中井養三郎	隠岐島司	東文輔	1907	明治40	07	21	東宮殿下御行啓ノ節本県 知事ヲ經テ献納シ若クハ 御供奉員ニ贈呈シタル海 馬毛鞣価格
005	21		答申 ○本島ニ於 ケル海馬捕獲数 ○捕獲数制限ノ変更 並ニ其來歴理由	竹島漁獵合資会社代表社員	中井養三郎	隠岐島庁書記	有美孫	1907	明治40	07	13	本月12日質問の件に対 する答申 【新研究P93】

『渉外関係綴(竹島関係綴)』(S28)

005	22		願書(樺太海馬島の管轄庁へ海驢の捕獲に関する照会を願う)	竹島漁獵合資会社代表社員	中井養三郎	隠岐島司	東文輔	1907	明治40	07	14	北海道における海馬皮販路への影響を調査するため	
005	23	農第789号	井口龍太竹島海驢漁業許可御取消申請書(不提出と朱書)	隠岐島庁農商係			竹島漁獵合資会社代表社員	中井養三郎	1907	明治40	08	19	
005	24		答申書(竹島に於ける海驢保護と現在及将来遠洋漁業との関係、海驢の棲息が付近の魚族蕃殖に及ぼす影響等、利害の点詳細な質問に対する答申)		中井養三郎	島庁書記	松浦喜代松	1908	明治41	04	12		
005	25		[2月10日付号外で照会の件へ回答]	竹島漁獵合資会社			西郷町役場	1908	明治41	02	13	資本金総額、払込総額、積立金、社債現在額	
005	26		竹島状況報告		中井養三郎	島司		1908	明治41	04	20	【新研究P95】	
005	27		竹島ニ於テ器械水雷発見人名(明治41年4月19日午後2時頃竹島に於テ発見センモノ)	竹島漁獵合資会社			西郷警察署	1908	明治41	05	08		
005	28		社船遭難報告		中井養三郎	島司		1908	明治41	07	20		
005	29		届書(明治41年6月29日竹島竹島に於いて破船)		中井養三郎	島司		1908	明治41	08	29		
005	30		[海驢生擒に関する件答申]		中井養三郎	島司		1909	明治42	01	26		
005	31	農第377号	[海驢捕獲に関する取り調べ]	隠岐島庁農商係書記	有美孫	竹島漁獵合資会社		1909	明治42	06	07	漁場ノ位置、捕獲ノ時期、最近3ヶ年捕獲頭数、捕獲方法、捕獲ニ関シ他ノ漁業トノ関係	
005	32		農第437号(明42.6.29)農第597号(明42.9.23)右督促状 省略										
005	33		答申書(農第377号に対する)		中井養三郎	隠岐島庁第1課長	有美孫	1909	明治42	10	06		
005	34		最近三ヶ年捕獲頭数(農第377号に対する答申中、訂正分か)					1906~	明治39~				



## 『渉外関係綴(竹島関係綴)』(S28)

005	35		明治42年鰈網漁業概況報告書 省略					1910	明治43	05	14		
005	36	一第1018号	[海驢捕獲に関する調査]	隠岐島庁第一課		竹島漁獵合資会社		1910	明治43	11	22		
005	37		(島庁へ提出せる)履歴書 (中井養三郎)		中井養三郎	島庁							明治5年～明治43年 第1学歴 第2事業 第3賞罰
005	38		(右に附属する)事業経営概要		中井養三郎	島庁							第1浦塩斯徳海驢漁業 第2鳥取県海驢漁業 第3巾着網試験漁業 第4竹島経営 第5千島経営 第6石油発動機漁船【新研究P96】
005	39		[別紙の通り内務部長より申越あり、回答を依頼する通知]		正本技手	竹島漁獵会社				05	31		
005	40		[上記別紙か 海驢皮処理法の試験について]	[内務部長]				1911	明治44	05	31		農商務省水産講習所二テ之ガ試験致度趣
005	41		[御照会の件に回答、年別海驢捕獲頭数、従業者員数]			西郷町役場		1912	明治45	01	29		【新研究P96】
005	42	庶第175号	竹島漁獵二関スル件照会	島根県隠岐支庁長		竹島漁獵会社社長	中井養三郎	1927	昭和2	04	04		
006	00		竹島漁獵合資会社営業成績略 明治三十八年分	竹島漁獵合資会社代表社員	中井養三郎			1905	明治38	10	30		004
006	01		営業損益仮勘定					1905	明治38				
006	02		竹島海驢漁獵成績図 明治三十八年					1905	明治38				6月14日～9月8日、一日ごとに牡・牝・仔に分けて捕獲頭数を折れ線グラフで表している。
007	00		昭和二十八年七月十三日附・独島(竹島)に関する日本政府声明に対する韓国政府反ばく声明(全文) (九月九日声明発表)					1953	昭和28	09	09		訳文【新研究P122、P144～150】

## 『涉外関係綴(竹島関係綴)』(S28)

008	00		九月九日附韓国声明に対する若干の批評(田村 二八・一〇・一四)		[田村]			1953	昭和28	10	14		007
008	01		東国輿地勝覧 四十五卷 蔚珍県									【新研究P151】	
008	02		東国輿地勝覧 江原道図									地図	
008	03		芝峯類説 二 地理部(輿地勝覧の孫引きならん、傍点が李蔘光の増補なり)									【新研究P152】	
009	00		韓国側の主張の若干に対する反駁		田村			1954	昭和29	10	14		002
010	00		鳥取県郷土史第五編 第一章 藩政時代に於ける因伯の状況 第四節 竹島事件									写(手書き)	024
011	00		鬱陵島に関する資料蒐集について	総務部長		浜田市長・浜田図書館長		1953	昭和28	10	21	起案文書(起案課 広報文書課、起案者 田村主	002
011	01	広第450号	鬱陵島に関する資料蒐集について	島根県総務部長				1953	昭和28	10	21		
012	00		竹島の所属について(島司廃止(大正15年7月1日)後の竹島の所管について齊藤主事と田村主事とが研究した結果)										001
013	00		「極秘」(朱印)竹島について 第一、吉野氏談話の概要 第二、所見		[上手主事、田村主事]			1953	昭和28	09	30		003
014	00		竹島の編入について	課長		穂地郡五箇村長 奥川陽一		1953	昭和28	09	15	起案文書(起案課 広報文書課、起案者 田村主事)	002
014	01	広号外	竹島の編入について	島根県総務部広報文書課長	古瀬 禦	穂地郡五箇村長 奥川陽一		1953	昭和28	09	15		
015	00	発第1226号	竹島の編入について(広号外(昭和28年9月15日付)に対する報告)	穂地郡五箇村長	奥川陽一	島根県総務部広報文書課長 古瀬 禦		1953	昭和28	09	21		003

## 『渉外関係綴(竹島関係綴)』(S28)

015	01	議第二号	議第二号 昭和十四年四月二十四日 原案可決 竹島ヲ五箇村区域ニ編入ノ件(写)	五箇村長	村上 真			1939	昭和14	04	24	発第1226号の添付文書【新研究P63】	
015	02	発第178号	発第一七八号 昭和十四年四月二十一日 村会招集告知(写)	五箇村長	村上 真	宇野四郎外十一名		1939	昭和14	04	21	発第1226号の添付文書	
016	00		竹島の編入について(発第1226号で回答のあった標記のことに関して更に調査、報告を依頼)	課長		穂地郡五箇村長	奥川陽一	1953	昭和28	09	29	起案文書(起案課 広報文書課、起案者 田村)	002
016	01	広号外	竹島の編入について(発第1226号で回答のあった標記のことに関して更に調査、報告を依頼)	島根県総務部広報文書課長	古瀬 禦	穂地郡五箇村長	奥川陽一	1953	昭和28	09	29		
017	00	発第599号	竹島の編入について(広号外(昭和28年9月29日付)で照会の件に回答)	穂地郡五箇村長	奥川陽一	島根県総務部広報文書課長	古瀬 禦	1953	昭和28	11	12		001
018	00		竹島に関する調査結果の送付について(11月10日・11日、浜田市と益田市における調査結果)	総務部長		外務省条約局第1課	川上事務官	1953	昭和28	11	12	起案文書(起案課 広報文書課、起案者 田村主事)	004
018	01	[別紙]	[漁業者等5名からの聞き取り調査]					1953	昭和28	11	12	漁業者、運搬業者、水産試験場技手、中学校教諭(件番19の浜田市立図書館長からの回答を受けて聞き取り調査に行つたと思われる)	

## 『渉外関係綴(竹島関係綴)』(S28)

019	00	竹島に関する調査について(依頼) (田村主事を出張させ、御櫓日記・池田家控帳・安竜福事件・大谷村川両氏の竹島松島経営に関する資料の調査をしたい)	課長		鳥取県総務課長	1953	昭和28	11	17	起案文書(起案課 広報文書課、起案者 田村)	001
020	00	鬱陵島に関する資料蒐集の件 (件番11の広第450号に対する回答)	浜田市立図書館長		島根県総務部長	1953	昭和28	11	05		002
021	00	『明治三十八年度計算書 竹島漁獵合資会社』 明治三十八年業務執行顛末・明治三十八年度計算書貸借対照表・三十八年度計算書抜粋	業務執行社員	中井養三郎		1908	明治41	03	29	顛末の後に「(評決)本書決算ノ通異議無之候事 明治四十一年三月二十九日 無限責任社員中井養三郎 有限責任社員加藤重蔵 有限責任社員橋岡友次郎」【新研究P88】	005
022	00	『明治四十四年 生産品勘定帳 竹島漁獵合資会社』				1911	明治44			【新研究P96】	003
023	00	明治三十九年度計算書 竹島漁獵合資会社 明治三十九年度業務執行顛末・明治三十九年度計算書貸借対照表	業務執行社員	中井養三郎		1908	明治41	03	29	顛末の後に「(評決)本書決算ノ通異議無之候事 明治四十一年三月二十九日 無限責任社員中井養三郎 有限責任社員加藤重蔵 有限責任社員橋岡友次郎」【新研究P94】	003
024	00	伯耆民談 寛保二壬戌年□天・安永九庚子年仲夏 伯耆倉吉因府 卷之一 地理部 一米子 大谷村川竹島渡海之事 騎士 松岡布政述 准将 鶴殿長綱補				1742	寛保2			「伯耆民談記 松岡布政著 大正三年一月 因伯耆書本」の記述を括弧書きで加えている。	002

## 『渉外関係綴(竹島関係綴)』(S28)

025	00	秘書朝鮮新話 文政三庚辰五月吉日水津氏用と題す					1716~1735	享保年間		文末に(本書は、釜山日本館にて享保年間に作成されたものようであり、水津彦蔵信吉が文政三年五月抄写したものである。)	001	
026	00	[竹島関係年表 天正15(1587)~昭和20(1945)]									005	
027	00	The Korean Government's refutation of the Japanese Government's Views concerning Dokdo("Takeshima") dated July 13,1953. 「独島("竹島")に関する1953年7月13日付け日本政府見解に対する韓国政府の反駁」	駐日韓国政府代表部		外務省		1953	昭和28	09	09	『東亜新聞』1953.9.26に掲載(日本語訳)	009
028	00	観聴随筆 抜書 卷之上 石見国安濃郡為福波根東村覚書 但万治元年ヨリ宝永四年迄五十年為一冊					1658	万治元~			文末に「右明治四十四年九月依安濃郡波根東村加藤利寛所蔵原本謄写口矣 島根県史編纂掛」とある。寛文11(1671)~宝永4(1707)を抜き書き	002
028	01	観聴随筆 卷之中(抜粹) 波根東村覚書 第二卷					1708~	宝永5~			享保2(1717)まで抜き書き	001
028	02	観聴随筆 卷之下 波根東村覚書 第三卷					1718~	享保3~			享保8(1723)まで抜き書き 島根県内務部島根県史編纂係の印あり。【新研究P23】	002

## 『涉外関係綴(竹島関係綴)』(S28)

029	00	大谷九右衛門 竹島渡海由来記抜 書控 第四〇 号 (初代大谷九右 衛門勝宗 二代目同 勝実 三代目同勝信 四代目同勝房(新九 郎勝意曾祖父))									文末に「朱書 隠岐国西 郷長田和歌次蔵原本二 依り謄写ス(昭和二十九 年二月八日広報文書 課)」とある。【新研究P2】	021
030	00	竹島渡海由来記抜 書控 全 島根県蔵異本 第四三号 (こ の謄本は、一本より は悪写である。T)									文末に「朱書 右長田和 歌次送付の謄本により写 之 明治四十四年十月十 九日島根県史編纂掛(昭 和二十九年二月十一日 広報文書課)」	016
031	00	竹島に関する七箇条 返答書 原書には書名なし為 便宜之を命名す(野 津印) 第四一号	伯州米子町人	大谷九右衛門・村川市兵衛	(江戸)	1724	享保9	04	03		文末に「朱書 右長田和 歌次蔵本ニヨリ謄写之 島根県史編纂掛(昭和二 十九年二月十三日広報 文書課)」とある。	005
032	00	(池田家文書)享保 九年甲辰年閏四月 十六日公儀江被遊 御差出御書付之控				1724	享保9	04	16			003
033	00	因幡国鳥取藩主池 田家文書 鳥 取県立図書館所蔵 昭和二十八年十一 月謄写 島根県広 報文書課				1724	享保9	04	16			007
034	00	(地図)竹島図 享保 九甲辰四月 江戸へ 書上之写				1724	享保9	04			「昭和二十八年十一月鳥 取池田文書ニ依り謄写」 と書き込みあり	001
034	01	[地図 竹島図]									「昭和二十八年十一月依 鳥取池田文書謄写了」と 書き込みあり	001
034	02	[地図 竹島図]									「昭和二十八年十一月依 鳥取池田文書謄写了」と 書き込みあり	001